

< 2004年6月9日プレスリリース >

http://fruit.naro.affrc.go.jp/announcements/kisya/h16-06-09/kaju_ondanka.html

温暖化は日本各地で果樹の生育に影響を及ぼしている

- 温暖化による果樹農業への影響について調査結果まとまる -

< 当該研究成果のポイント >

果樹研究所は、47都道府県の果樹関連研究機関を対象に、果樹農業に対する温暖化の影響についてのアンケート調査を実施しました。温暖化が農産物に与える影響を全国規模で初めて調査しました。

アンケート結果から以下のことが明らかになりました。

すべての都道府県で温暖化の影響が出始めていると認識していることが分かり、影響の広がりを明確に表す結果となりました。

ニホンナシやモモなどでは収穫期が前進したため、盆前出荷などの高値販売が可能になった産地がある一方、これまで高値販売してきた地域はその有利性を失うなどの現象が起きているなど、果樹生産にとってはメリット、デメリット両面の影響が現れていました。

報告書では、アンケート調査結果のほか、品目毎の具体的な果樹生産への影響やその対応状況等を加えてあり、ホームページ (<http://fruit.naro.affrc.go.jp/kajunoheya/ondan/kikouhendou.html>) で参照できます。

< 期待される効果・今後の展開など >

本報告では、果実の着色、障害、貯蔵性、病害の変化など、温暖化の影響または温暖化の影響が疑われる主要な現象については、都道府県の担当者によるより詳細な調査結果が掲載されています。また、より専門的な解析あるいは将来予測についても併せて掲載し、幅広く活用できるようになっています。

なお、温暖化の研究の歴史は浅いため、この報告書で取り上げているものの中には確実に温暖化の影響だと断言できないものも含まれていることには留意が必要です。

< 研究所名 > (独) 農業・生物系特定産業技術研究機構 果樹研究所

< 担当者名 > (独) 農業・生物系特定産業技術研究機構 総合企画調整部
研究調査室主任研究官 杉浦俊彦

< 連絡先 > 果樹研究所 企画調整部 情報資料課 上杉かおる
電話 029-838-6454